











馬不火堂

### 級長戸辺神社御由緒

御祭神

級長戸辺命(熊田大社)

天照大神(伊勢神宮)

岩田別命(石清水八幡宮)

天兒(櫻姫命(春日大社))

間(兼)女神(丹生川上神社)

創始

當元(天寶)文四年(一六六四)より八年間にも亘って  
出穂時に大風吹き、是れ高坂地方では凶作、諸悪病の流行が打ら、饑饉の時、十村、野尻村、葛地六郎右門が中心となつて、各十村と相謀り、加賀藩主前、田網院公へ願ひ出て、山田野の御用林の内、五、二九四坪の境内地を賜つて、熊田の風の神像を祀り創始した。

また古文書「越の下草」によれば、此社、古よりありて、中古傾廢に及びけるを、元禄の頃、重正・保長等、率ゝめて、神祠を再興し、五穀實繁を祈るなり。  
第一川上には山下の暴風を避けん事を念する由へ、重人不火堂といふ」とある。

当社は延宝三年(一六七五)八月社殿創設、天明二年(一七八二)に本殿が再建されている。

創建原由は、山田組、野尻組、太美組、井口組、石黒組、山見組、西八十ヶ町村に、惣結して創始し、毎年の神社費用は六組十村へ方銀計を以つて、明治初年まで加賀藩の認可を受け維持されてきた。御祭神の木札によれば、元禄十四年(一七〇一)に神社の再興を圖り、前記五柱の神像を祀り五柱大明神となつたことがわかる。

明治元年(一八六八)に級長戸辺神社と改称された。當社は氏子もなく、その後は多くの崇敬村、葛志家の御淨財により維持されてきている。現在の御本殿は昭和五十九年(一九八四)に改築された。

例祭日

七月十五日 例大祭(風績祭)  
十二月五日 新穀感謝祭



級長戸辺神社

# 例大祭の御案内

(御鎮座三五〇年記念大祭)

日時 令和元年七月十五日祝 (午後二時)

祭典 手水舎竣工式・例大祭

祝賀 浦安の舞・箏曲・尺八

行事 獅子舞・もちつき太鼓



宮司 山田宣道



































































































